

## 市民・事業所アンケートについて

### 1 市民アンケート

#### (1) 調査目的

市民のごみ排出状況や、ごみに対する関心度や意見等を把握し、新たな一般廃棄物処理基本計画において実施する施策等に反映させることを目的に実施します。

#### (2) 調査の視点

- ・ 市民のごみ減量に対する考え方、行動の把握
- ・ 前回アンケート（現行計画策定時）からの意識変化の把握
- ・ ごみの排出に関するニーズ等の把握
- ・ ごみの排出実態や今後の取り組み実施可能性の把握

#### (3) 調査概要

##### ア 送付方法・内容等

- ・ 郵送による配布、回収
- ・ 以下のものを長 3 形封筒に封入し、
  - ◇ 鑑文
  - ◇ アンケート用紙（A4 版最大 8 ページ程度、本文 10.5 ポイント以上で作成）
  - ◇ 返信用封筒（長 3 形）

##### イ サンプルング方法・送付数

- ・ 20 歳以上の市民 1,500 世帯（前回実施時回収率 53.2%の場合、回収数 798）
- ・ 年代で送付数を割り付けし、住民基本台帳からランダムサンプルング

表 1 市民アンケート年代別送付数（案）

年代	計	
	送付数	比率
20-29	190	12.7%
30-39	216	14.4%
40-49	280	18.7%
50-59	230	15.3%
60-69	212	14.1%
70-79	225	15.0%
80-	147	9.8%
計	1,500	100.0%

※ 平成 31 年 3 月 31 日時点の年齢別人口を元に算出

ウ スケジュール

令和元年	11月中旬	アンケート送付
	11月下旬	礼状兼催促状送付
	12月初旬	アンケート回答〆切
令和2年	1月	集計・分析

(4) 設問内容と設問意図

表 2 市民アンケートの設問内容・設問意図 (その1)

区分	設問項目	問	設問文	設問意図
意識度・減量浸透の	環境問題に関する興味関心の度合い	問1	次の項目のうち、あなたが関心のある事項をお教えてください。【H22年度調査から継続】	回答者の興味関心の把握
	ごみ減量行動(リデュース・リユース)の浸透度	問2	あなたがご家庭で取り組んでいるリデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)の取り組みをお教えてください。【H22年度調査から継続】	市民の減量行動の浸透度を把握し、減量フレームの減量幅の設定に利用
情報源	ごみ減量や分別に関する情報源	問3	ごみ減量や分別、リサイクルに関する情報は、どのようにして知ることが多いですか。【H22年度調査から継続】	ごみ減量や分別についての情報源の把握と今後の媒体活用のための情報源として利用
ごみの排出方法	品目毎の処分方法	問4	あなたのご家庭では、次の品目を主にどのように排出、処分されていますか。それぞれの品目について、その処分方法をお教えてください。【H22年度調査から継続】	品目毎の処分方法を把握し、分別協力の度合いの把握、減量フレームの減量幅の設定に利用
	「燃やすごみ」、「びん・缶・ペットボトル」の排出状況	問5	現在の尼崎市では、「燃やすごみ」を週2回、「びん・缶・ペットボトル」を週1回、それぞれ収集しています。あなたの世帯では、週に指定袋を何袋出されますか。【H22年度調査から継続】	収集回数変更後の「燃やすごみ」の排出状況の把握
		問6	あなたの世帯ではびん、缶、ペットボトルを、それぞれ週に何本出されますか。	「びん・缶・ペットボトル」の排出状況及び今後の分別方法についての意向の把握
	ペットボトルの品質向上に向けた、びん、缶、ペットボトルの排出方法について	問7	尼崎市では、「びん・缶・ペットボトル」を週1回あわせて収集し、ごみ処理施設で「びん」と「缶」と「ペットボトル」に選別してリサイクルしています。ペットボトルについては、綺麗な状態であれば年間数千万円で売却できるのですが、現在、割れたびんの破片が付着し汚れているため、0円で引き取られています。この状況を改善するため、「ペットボトル」と「びん・缶」を隔週ごとに収集する方法が考えられます。今後、びん、缶、ペットボトルの収集方法はどのようにすべきだと考えますか。	
食品ごみについて	食品ごみの廃棄経験(よく捨てている食品ごみ)	問8	あなたの世帯から出る「食品ロス」にはどういったものがありますか。	食品ごみ、食品ロスの廃棄状況の把握と行動の浸透度を把握し、減量フレームの減量幅の設定、並びに今後の広報等に利用
	対策として実践している内容(行動)	問9	あなたの世帯で食品ロスを減らすために取り組んでいることはありますか。	
	スーパー、飲食店の食品ロス削減メニューの利用可能性	問10	スーパーや飲食店等で食品ロスを削減するキャンペーンや取り組みに協力したいと思いますか。	市民と事業者が協働して取り組む行動メニューの利用意向を把握し、事業者への取組推進時の説明に利用
	生ごみ減量化の状況	問11	台所からの生ごみ(調理くずなど)を減らすために取り組んでいることはありますか。	生ごみ減量の取組状況と、取組が進まない要因を把握し、今後の取組推進の方向性を検討
		問11-1	(分岐設問)「取り組んでいない」と回答の方のような支援があれば、生ごみの減量化に取り組めますか。	
プラスチックごみについて	使い捨てプラスチック製品や容器包装の必要性について	問12	次の使い捨てプラスチック製品のうち、海洋プラスチックごみ問題解決のために、使わなくてもよいと思うものをお教えてください。	プラスチック製品、容器包装の発生抑制に対する受容性の確認
	尼崎市での家庭系ごみのプラスチック処理について	問13	現在、尼崎市ではプラスチックごみを「燃やすごみ」として収集し焼却しており、その際に発生した熱で発電を行っています。一方、プラスチックごみは、海洋プラスチック問題や地球温暖化防止の観点から、分別して収集し、原材料としてリサイクルする方法もありますが、それには収集や選別施設の建設など多額の費用がかかります。今後、プラスチックごみの処理方法はどのようにすべきだと考えますか。【H22年度調査から継続】	プラスチックのリサイクル方法についての意向の把握

表 3 市民アンケートの設問内容・設問意図（その2）

区分	設問項目	問	設問文	設問意図
施策把握の	市の施策の認知度	問14	尼崎市では、ごみ減量や適正処理、ごみの出しやすさの向上等を目的に様々な取り組みを行っています。利用しているものや知っているものがあればお教えてください。【H22年度調査から継続】	市の施策の認知度や利用状況を把握し、施策展開、広報の改善に活用
	市民が求める施策	問15	ごみ減量や安心してごみを排出できる環境づくりとして、今後どのような取り組みが大切だと思いますか。	今後の施策立案に反映
にごみ減量可能性	ごみ減量の可能性について	問16	今後、あなたの世帯ではどのような取り組みによってごみを減らせそうですか。	今以上の減量余地があるか、市民の状況を把握
有料化について	ごみ減量のためのごみ処理有料化について	問17	ごみ減量意識の向上や多量にごみを出した方が費用を多く負担するという公平性の観点から、ごみ処理費用の一部をごみの量(多い・少ない)に応じて負担していただくため、45Lごみ袋1袋当たり45～90円で販売する「ごみの有料化」を導入する自治体が増えています。有料化による収入は、まちの環境美化やごみ出し支援などに活用されています。このようなごみの量に応じて、ごみ処理費用を負担することについてどうお考えですか。【H22年度調査から継続】	ごみ処理有料化についての意向の把握
		問17-1	(分岐設問)「負担が必要ないと思われる」と回答の方ごみ処理費用の負担の必要がないと思われる理由は何ですか。【H22年度調査から継続】	
属性質問	年代	属性1	あなたの年齢をお教えてください。	他設問とのクロス集計に利用
	性別	属性2	性別をご記入ください。	
	世帯の種類	属性3	あなたを含めて、同居されている方の人数は何人ですか。	
		属性4	あなたを含めて同居されている方の世帯構成としてあてはまるものをお選びください。	
	居住地区	属性5	あなたがお住まいの住居地区についてお教えてください。	
	居住期間	属性6	あなたは尼崎市にお住まいになられて何年になりますか。	
	居住建物種別	属性7	あなたの家の住居形態についてお教えてください。	
自由記入	—	—	廃棄物の処理やりサイクルなどについて、自由なご意見やご提案をお聞かせください。	—

## 2 事業所アンケート

### (1) 調査目的

事業所のごみ排出状況や、適正処理、減量・資源化に対する関心度や意見等を把握し、新たな一般廃棄物処理基本計画において実施する施策等に反映させることを目的に実施します。

### (2) 調査の視点

- ・産業廃棄物、事業系一般廃棄物等、事業ごみの適正処理についての認知度の把握
- ・ごみ減量、資源化等の取組状況、今後の取り組み実施可能性の把握
- ・市等から情報提供してほしい情報の内容の把握
- ・(小売店、飲食店等向け) 食品ロス削減に向けた取組意向の把握

### (3) 調査概要

#### ア 送付方法・内容等

- ・郵送による配布、回収
- ・以下のものを長3形封筒に封入し、
  - ◇ 鑑文
  - ◇ アンケート用紙 (A4版最大8ページ程度、本文10.5ポイント以上で作成)
  - ◇ 返信用封筒 (長3形)

#### イ サンプルング方法・送付数

- ・市内500事業所 (前回実施時回収率 46.1%の場合、回収数230)
- ・市の事業所名簿から業種別に送付数を割り付けし、ランダムサンプリング

表4 事業所アンケート業種別送付数 (案)

産業大分類		構成比	送付数
A	農 業 , 林 業	0.08%	-
B	漁 業	0.00%	-
C	鉱 業 , 採 石 業 , 砂 利 採 取 業	0.00%	-
D	建 設 業	7.97%	40
E	製 造 業	9.74%	49
F	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	0.11%	1
G	情 報 通 信 業	0.61%	3
H	運 輸 業 , 郵 便 業	2.22%	11
I	卸 売 業 , 小 売 業	23.48%	117
J	金 融 業 , 保 険 業	1.18%	6
K	不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	7.15%	36
L	学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	3.06%	15
M	宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	15.74%	79
N	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	9.13%	46
O	教 育 , 学 習 支 援 業	3.08%	15
P	医 療 , 福 祉	10.47%	52
Q	複 合 サ ー ビ ス 事 業	0.37%	2
R	サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の )	5.61%	28
総 数		100.00%	500

※平成28年6月時点の事業所数を元に算出

ウ スケジュール

令和元年	11月中旬	アンケート送付
	11月下旬	礼状兼催促状送付
	12月初旬	アンケート回答〆切
令和2年	1月	集計・分析

(4) 設問内容と設問意図

表 4 事業所アンケートの設問内容・設問意図 (その1)

区分	設問項目	問	設問文	設問意図	
ごみの排出方法	(住居と一体の場合)家庭ごみと事業系ごみは分けて排出しているかどうか	問1	貴事業所では「家庭生活から出るごみ」と「事業活動から出るごみ」を分けて排出していますか。【H22年度調査から継続】	排出方法、排出方法の法順守状態の把握を行い今後の広報、指導に活用、並びに減量フレームの減量幅等の設定に活用	
		問1-1	(分岐設問)「分けて排出していない」と回答の方「家庭生活から出るごみ」と「事業活動から出るごみ」を分けて排出できない理由は何ですか。【H22年度調査から継続】		
	事業系一般廃棄物と産業廃棄物を分けて排出しているかどうか	問2	貴事業所では「事業系一般廃棄物」と「産業廃棄物」を分けて排出していますか。		
		問2-1	(分岐設問)「分けて排出していない」と回答の方「事業系一般廃棄物」と「産業廃棄物」を分けて排出できない理由は何ですか。		
	ごみ種類別の排出方法・排出先・処分方法(事業系収運業者との直接契約、テナントビル等のごみ置場、市の家庭ごみ収集、自分で持ち込んでいる、その他)	問3	貴事業所では、次の品目を主にどのように処分されていますか。それぞれの品目について、その主な処分方法をお教えてください。【H22年度調査から継続】		
		問4	貴事業所では、事業系一般廃棄物を主にどのように排出していますか。【H22年度調査から継続】		
ごみの排出量	排出量を把握しているか	問5	貴事業所では事業系一般廃棄物の排出量を把握していますか。【H22年度調査から継続】	他設問とクロス集計を行い、今後の広報、指導先の選定に活用	
		問6	貴事業所では、1ヶ月間でおよそどれだけの事業系ごみ(事業系一般廃棄物)を排出していますか。またその処理にどれだけの費用がかかっていますか。【H22年度調査から継続】	回答群の排出状況の確認	
		問6-1	処理費用はどのように算出されていますか。		
	排出量	問7	貴事業所では、直近3年間で事業系ごみ(事業系一般廃棄物)の排出量に変化がありましたか。	業種毎の変動を把握するため	
		問7-1	(分岐設問)「増えた」「減った」と回答の方増えたり、減ったりした理由は何ですか。		
	ごみ減量、分別の取組み	ごみ減量、分別に取り組んでいるか、取組意向	問8	貴事業所では、事業系ごみ(事業系一般廃棄物)の減量やリサイクル等にどのように取り組んでいますか。	ごみ減量、分別行動の取り組み状況、取り組み意向について把握し、また課題についても明らかにすることで、今後の広報、指導先の選定に活用、並びに減量フレームの減量幅等の設定に活用
問9			貴事業所では、今後10年で、事業系ごみ(事業系一般廃棄物)の排出量は今と比べてどうなっているとお考えですか。		
問9-1			その理由は何ですか。		
問10			尼崎市のクリーンセンターに搬入される事業系ごみ(事業系一般廃棄物)の中には資源化可能な紙類などの資源物が多く含まれています。このことについて、どうお考えですか。		
社内での取組を行うにあたっての課題		問11	貴事業所にて、廃棄物の減量化・リサイクル推進に関する問題点はありますか。【H22年度調査から継続】		
(食品関連業種のみ)食品残さの排出方法		問12	食品関連業の方にお尋ねします。食品残さ(生ごみ)を減量やリサイクルするために取り組んでいることはありますか。	食品残さの排出状況、取組の実施状況、実施意向を把握し、今後の広報等に活用	
(食品関連業種のみ)食品ロスを減らす取組の実施状況、実施意向		問13	食品関連業の方にお尋ねします。食品ロスを減らす取組として実施されている内容はありますか。(計画中のものも含む)		

表 5 事業所アンケートの設問内容・設問意図（その2）

区分	設問項目	問	設問文	設問意図
情報提供、情報源	ごみ減量、適正処理に関する情報源	問14	ごみ減量、適正処理に関する情報は、どのようにして知ることが多いですか。	今後の広報等に活用
	ごみ減量、適正処理について知りたい情報	問15	市からどのような情報を提供してほしいですか。【H22年度調査から継続】	
	どのような情報提供があればよいか（印刷物、説明会、新規出店時等の案内）	問16	市から情報を発信する場合、どのような方法であれば利用しやすいですか。【H22年度調査から継続】	
属性質問	業種	属性1	貴事業所の業種をお教え下さい。	他設問とのクロス集計に活用
	事業所形態（事務所、工場・作業所、倉庫、店舗、その他）	属性2	貴事業所の形態についてお教え下さい。	
	地区	属性3	貴事業所が所在する市内の地区をお教え下さい。	
	従業員数	属性4	貴事業所の従業員数をお教え下さい。	
	のべ床面積（総面積のみ）	属性5	貴事業所の建屋部分の延べ床面積をお教え下さい。	
	住居と一体	属性6	貴事業所は経営者や社員の住居と一緒にありますか。	
	自由記入	—	廃棄物の処理やリサイクルなどについて、自由なご意見やご提案をお聞かせください。	—